令和4年度　静岡県障害者技能競技大会（アビリンピック）

「製品パッキング」 競技課題

1．課題

競技課題　1　　緩衝材の組立・結束 【25セット（5束）／30分】

競技課題　2　　小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包　【4梱包（4箱）／60分】

※競技課題1の緩衝材（完成品）は、競技課題2で使用します。

※競技課題2の中箱・化粧箱身・化粧箱蓋はカットのみの材料となります。

2．実施内容及び実施手順

（1）競技課題ごとに競技の説明を行います。その後競技を始めます。

（2）各競技は、詳細説明図のとおりです。

※詳細説明図は折り方の一例です。ほかの折り方や手順でも品質に悪影響が出る方法でなければ減点対象にはなりません。

（3）競技部材準備では各部材の数量確認と各部材のレイアウトを決めていただきます。

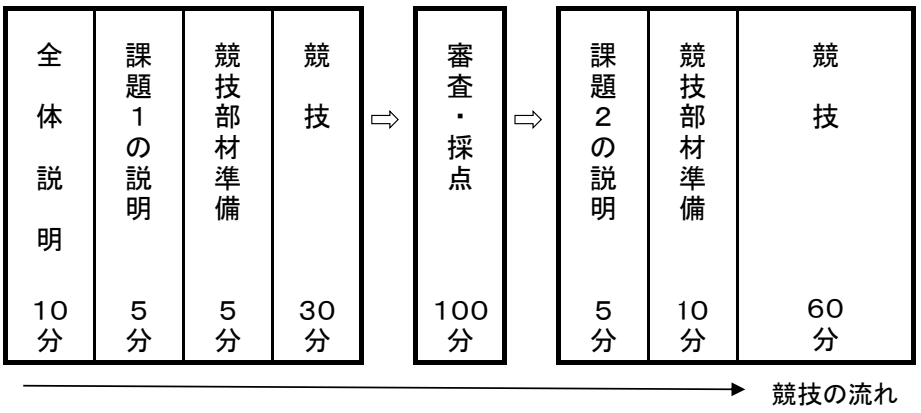
3．実施時間

全体説明：10分　　各競技課題の説明：各5分×2

競技課題１：30分　　競技課題２：60分

※競技当日は練習は行いません。

※審査・採点中は選手の方は休憩となります。



4．競技審査のポイント

競技課題 1　緩衝材の組立・結束

① 規定された数量を時間内で作成できたか。

② 製品の向きは正しいか。

※○・△の向きが外側になっているか

※端の製品が向かいあわせになっているか

※○・△が5個ずつ混入せずに同一方向に揃えているか

③ 正しく結束されているか。

※8㎝以内の結び目で、容易に解く事ができる結び方か

※緩衝材の端から10㎝以内の位置に結束されているか

※紐を持ち上げたときに、紐と製品の間隔が5㎝以内か

④ 外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹み などが無いか。

⑤ 正確な手順で折っているか。

⑥ 競技中に製品の落下はないか。

（商品の取扱いに注意しているか。）

競技課題 2　小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包

① 規定された数量を時間内で作成できたか。

② 緩衝材・小箱・中箱・化粧箱の組み入れの向き・数量は課題通りか。

※緩衝材の○・△の向きが外側に設置されているか

※緩衝材A・Bそれぞれ2ヶずつ設置されているか

※化粧箱の向きが緩衝材A側に縦置き、緩衝材B側に横置きされているか

※化粧箱に入っている状態で中箱の蓋が上になっているか

※中箱を開けた時に、小箱の底部が見えないか

※小箱の中に商品が1個入っているか

③ 包装テープの止め方はきれいか。課題通りか。

④ 外観にシワ・ヤブレ・汚れ・凹み などが無いか。

⑤ 完成品は敷き紙の上にはみださないように設置されているか。

⑥ 競技中に製品の落下はないか。

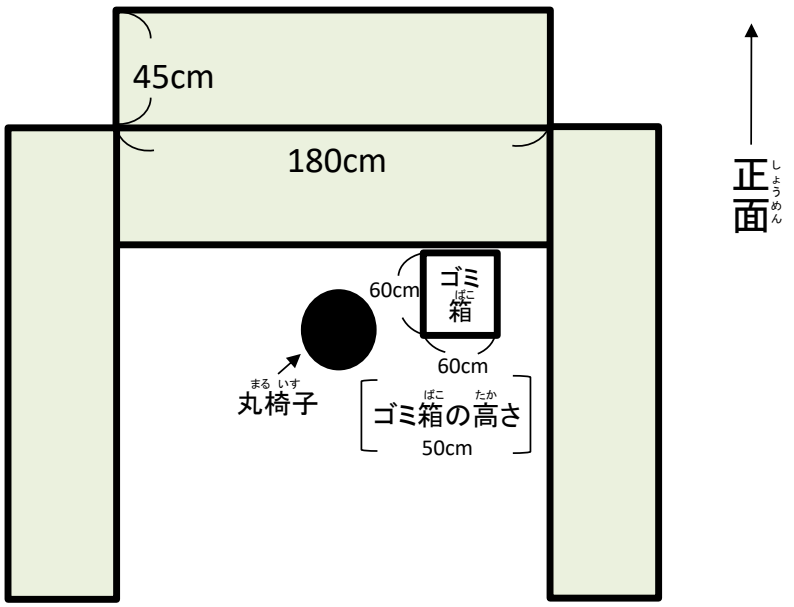
（商品の取扱いに注意しているか。）

5. 競技レイアウト

・机は4台使用し、コの字型に設置

・材料は机上に準備し、競技部材準備の時間に選手自らが各部材のレイアウトを決め設置する。

その際、競技課題2で使用する外箱のみ机に立てかけても良いが他の材料は机上に限定する。



6. 会場に準備されているもの（選手1人当たりの支給材料）

	材料名	数量	単位	備考
競技用材料	外箱	4	枚	
	小箱	16	枚	
	中箱	16	枚	
	化粧箱 身	16	枚	
	化粧箱 蓋	16	枚	
	緩衝材 A	25	枚	
	緩衝材 B	25	枚	
	商品	16	個	※梱包する商品（ダンボール片）
資材	結束紐	1	巻	株式会社宮島化学工業 PPソフトテープ HC-1000
	くちばし型カッター	1	本	トラスコ中山株式会社 TSD-256
	包装用テープ	1	巻	※テープカッター付き
	製品敷紙	1	枚	サイズ67.5×110㎝ ※課題2で完成品を置く際に使用します

7. 注意点

（1）競技の際は、必ず帽子と手袋を着用してください。なお、いずれも各自で持参してください。

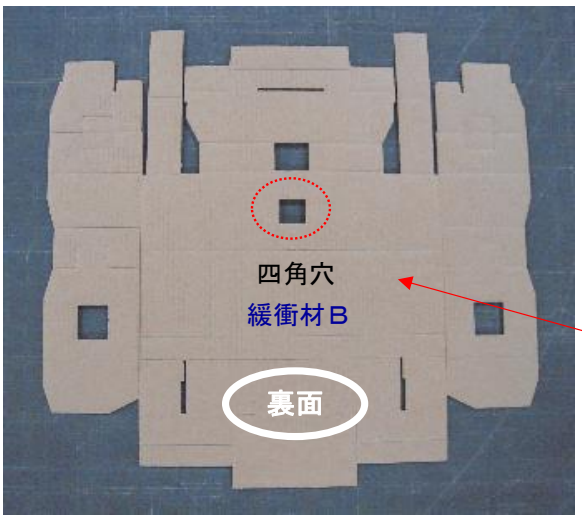
（2）トリム・抜きかす（型から外したときに出るごみ）はゴミ箱に入れてください。

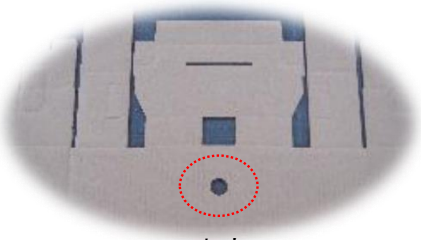
（3）タオルは持ち込み可としますが、身に着けたまま競技しないでください。

（4）競技中の水分補給は可としますが、材料にこぼすなど汚損した場合減点の対象となります。

【競技課題１】　緩衝材の組立・結束

展　開　図

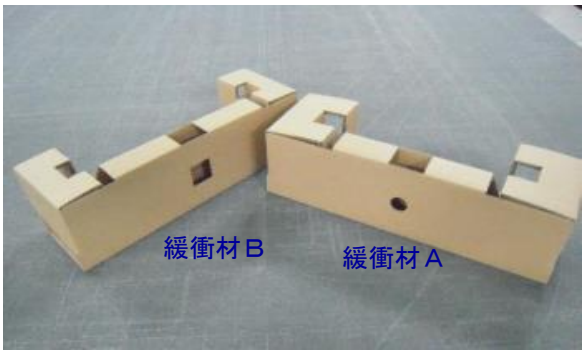




※緩衝材は2種類あります

※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります

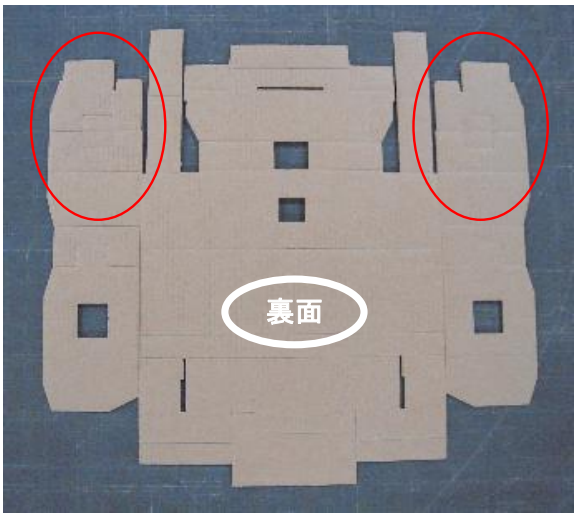
完　成　図



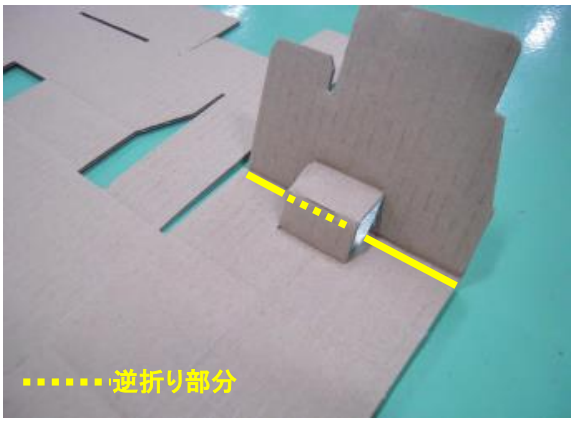
組立完成図

結束完成図

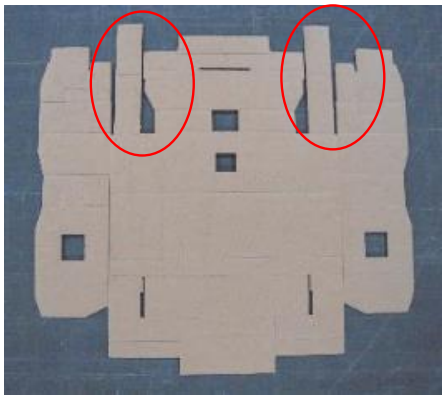
1. 緩衝材は2種類あるが、基本的な
折り方は共通です。(写真は緩衝材B)
緩衝材の裏面を上にし折ります。
最初に〇印の箇所から折ります。

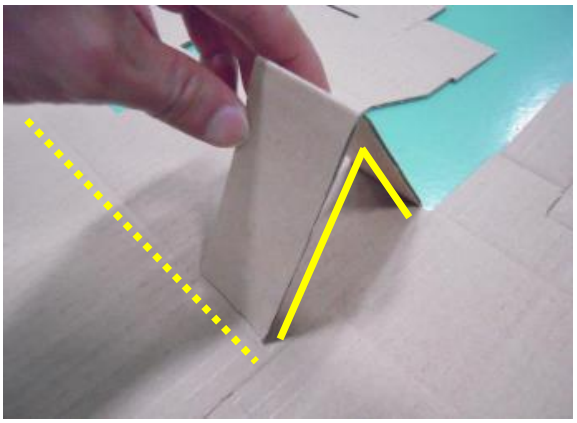


2. 本体の袖部分2か所に折り癖を付ける。

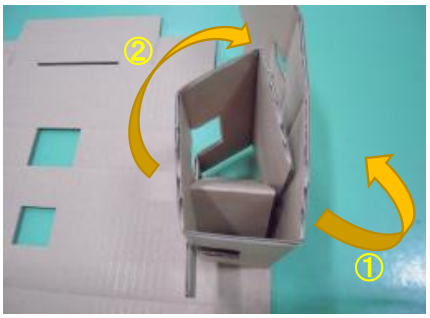


3. 〇部を点線部分の罫線に合わせ折り込み
三角をつくる。

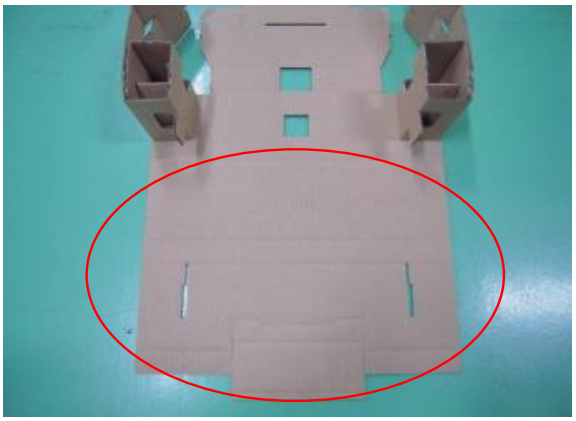




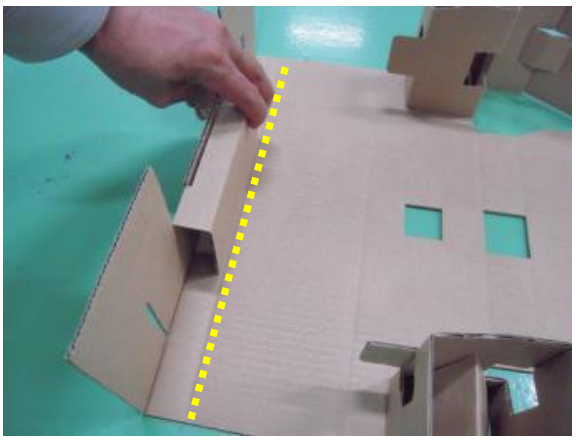
4. 袖部分を立ち上げ、3で折った三角部分に巻き付けるように折り込む。



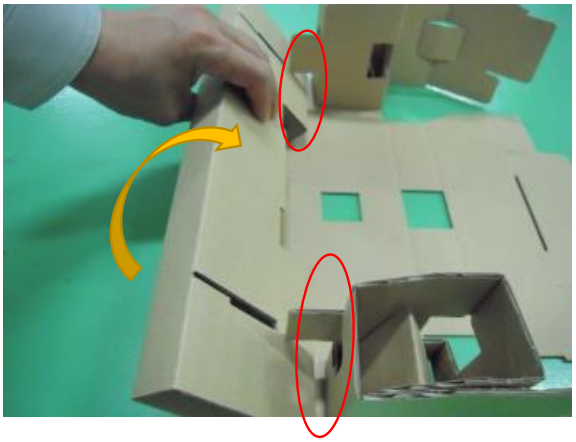
5. ○で囲んだ部分を折ります。



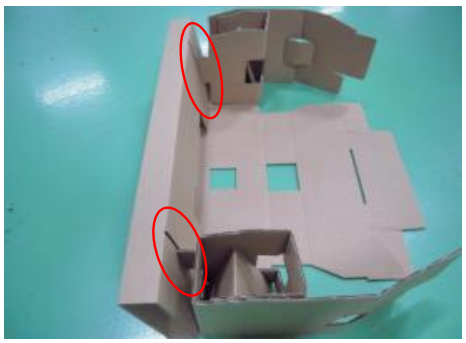
6. 中心部を点線部の罫線に合わせ折ります。

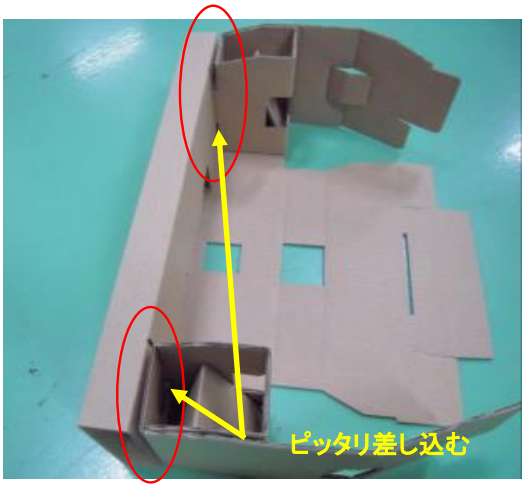


7. 両端先端部を折り込み、全体を矢印方向に立ち上げながら折り込む。

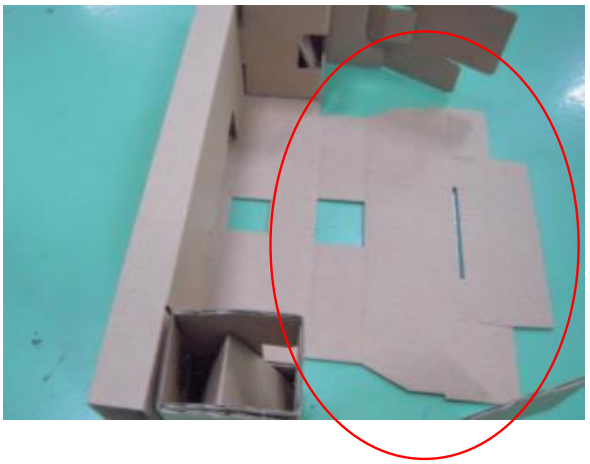


8. 穴部に袖部分の凸部分を差込ながら全体を立ち上げ折り込む。

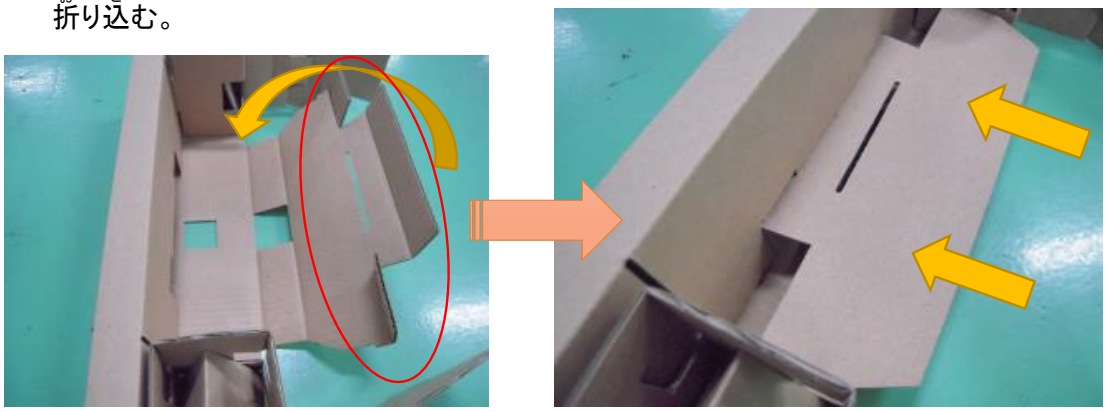




9. ○で囲んだ部分を折ります。

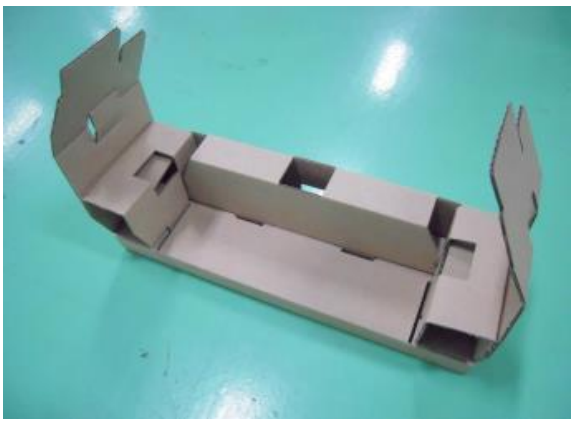


10. 先端部3か所を折りながら矢印方向に
折り込む。

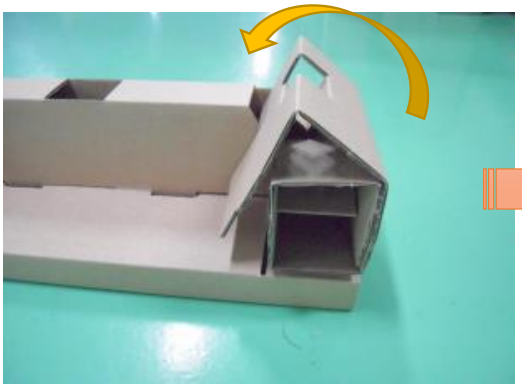


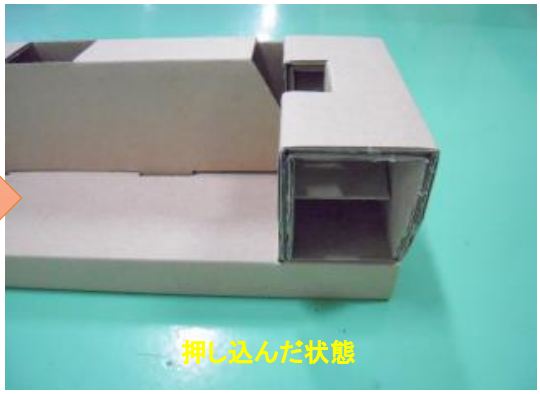
11. 全体を折り込み、本体にピッタリと
押し込む。

12. 袖部が上にくるように向きを変える。

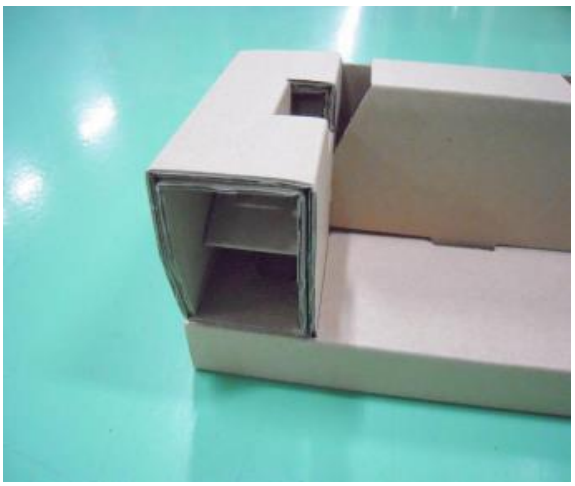


13. 袖部を罫線に合わせ折り込み、先端部を本体に差し込む。

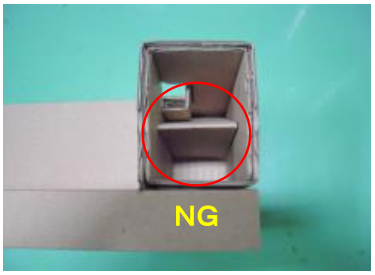


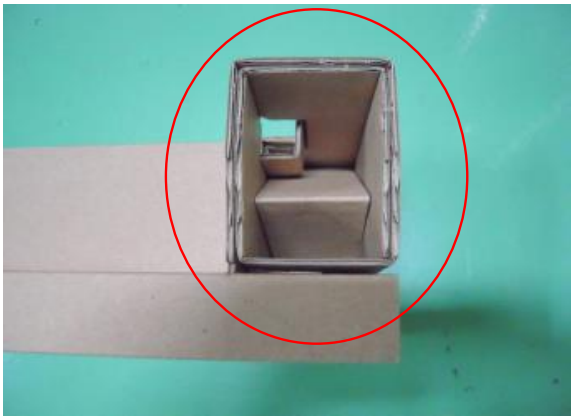


14. 反対側も同様に、本体に差し込む。

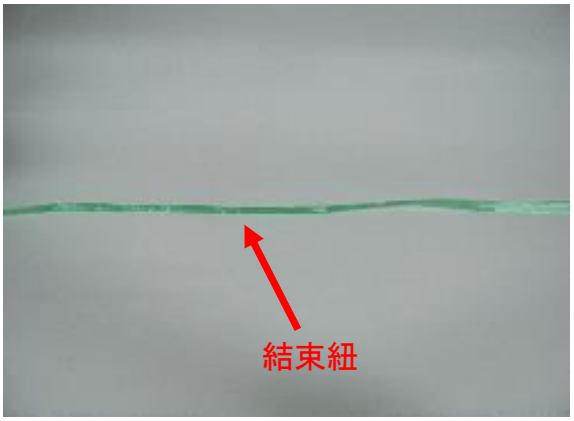


15. はじめに折った三角部分が正確に三角になっているか確認し完成。
これを緩衝材Aと緩衝材Bそれぞれ5個ずつ完成させる。





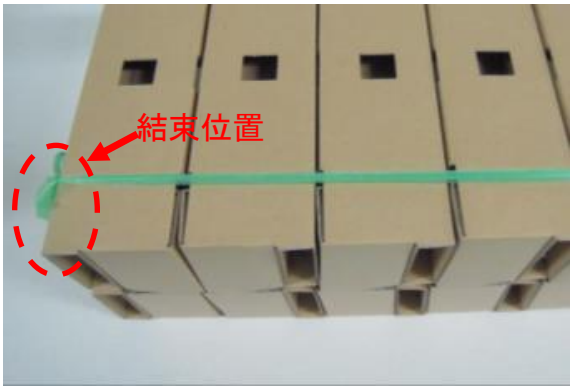
16. 作業台に結束紐を可能な限り直線に置く。



17. 設置した結束紐の上に緩衝材5ヶを
結束紐が端側位置にくるように置く。
置く際は〇口穴が下にくるように置く。

18. 17で置いた緩衝材と異なる緩衝材
（〇穴であれば口穴、口穴であれば〇穴）を
5ヶ、穴が上にくるように置く。

19. 緩衝材の端から10cm以内の角で結束する。結び方は自由。
ただし、結び目の全長は8cm以内とし、かつ容易に解く事が可能な結び方とする。
緩衝材を結束し、紐の長編中央部（3番目の緩衝材のところ）を、親指と人差し指でつまみ上げた時、製品と紐の隙間は5cm以内とする。なお、つまみ上げる強さは製品が動き出す直前の張力とし、製品が静止している状態で計測する。



※課題2では、自ら作成した製品の紐を解いて使用します。

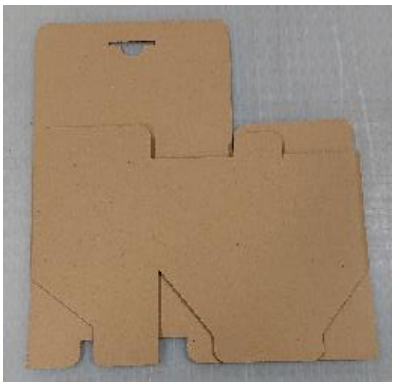
20. 反対側も同様に、結束紐を緩衝材の端にくるように設置する。

21. 緩衝材の角で結束し完成。

※例として横に置いた状態での結束方法を紹介していますが、
縦に置いた状態での結束でもOKです。

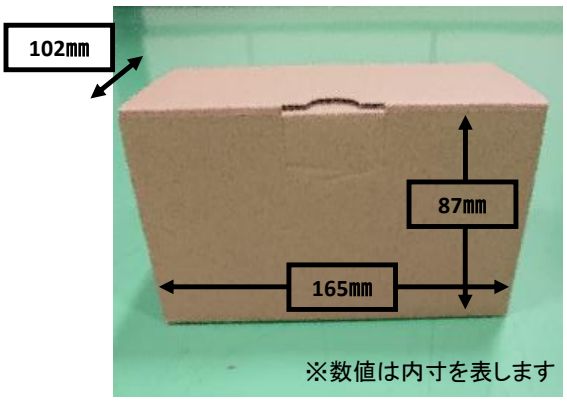
【競技課題２】　小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包（１）

小箱展開図



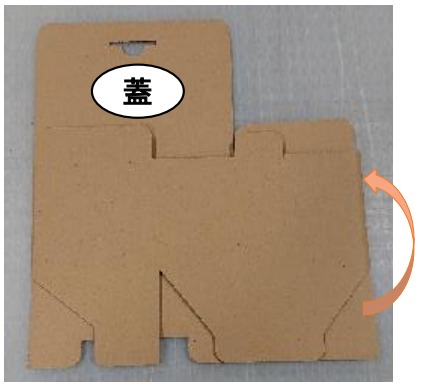
※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります

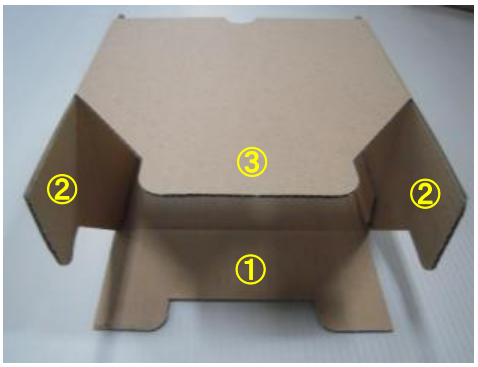
小箱完成図



※ロック部分が追加になりました

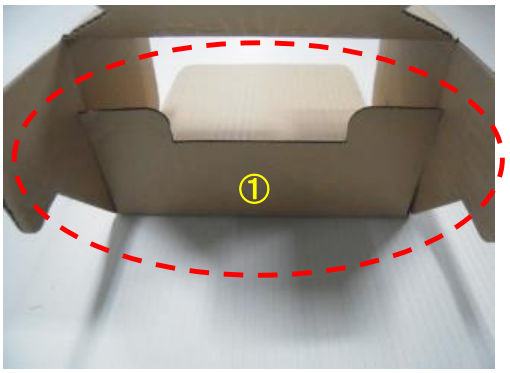
1. 蓋を下にした状態で、本体を立ち上げる。



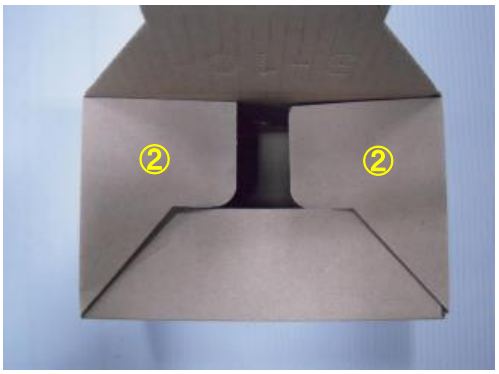


本体を立ち上げた状態

2. ①の蓋側底フラップを内側に折る。

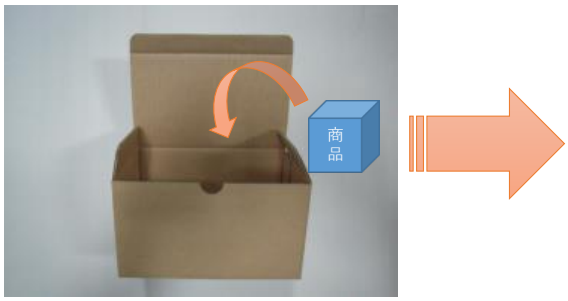


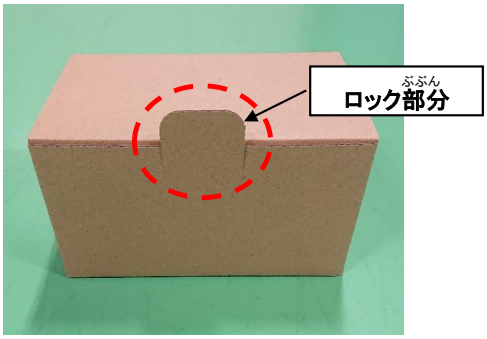
3. ②のフラップ2か所を内側に折る。



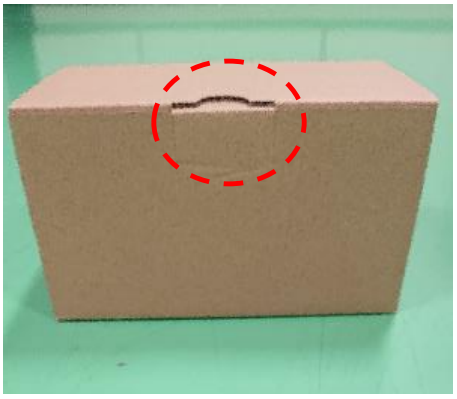
4. ③のフラップを内側に押し込み、底部が完成。

5. 底部を下にし、商品を箱の中に入れる。
商品を入れた後、フラップ2か所を内側に折り蓋をする。 ※商品は段ボール片を予定。

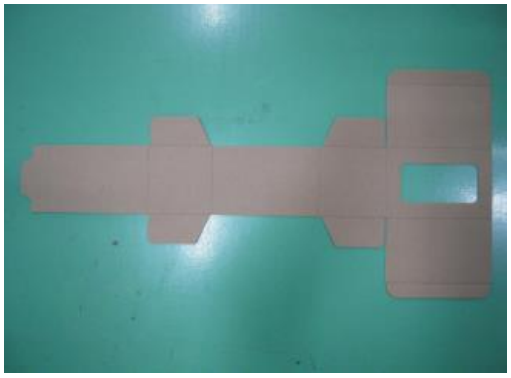




6. 最後にロック部分を挿入し完成。



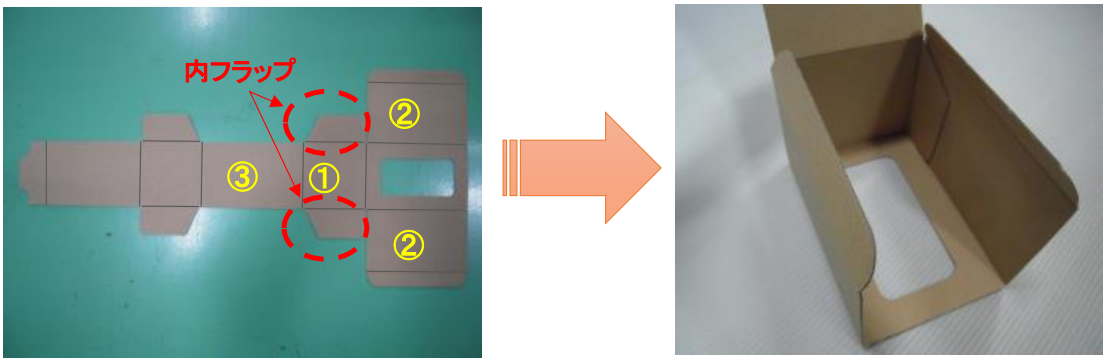
中箱展開図



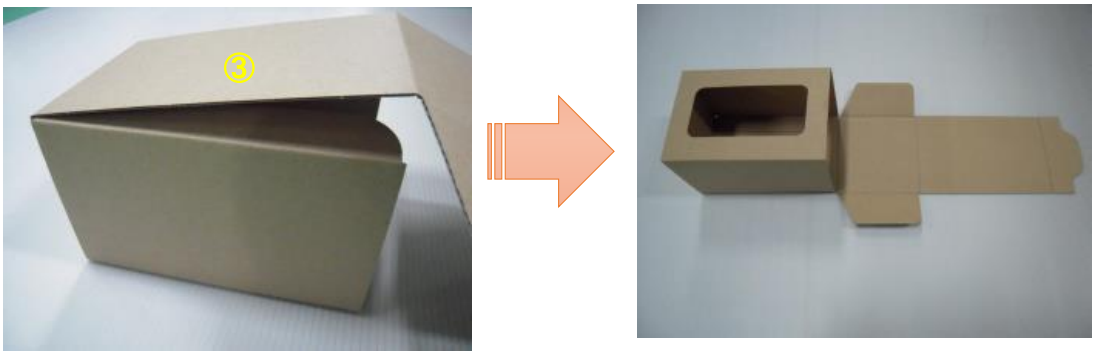
中箱完成図

※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります
※競技材料はカットのみの材料です。そのため屑取り作業が必要となります

6. ①の面を立ち上げ、内フラップ部分を内側に折りその後、②の面を立ち上げ先端部分を内側に折る。



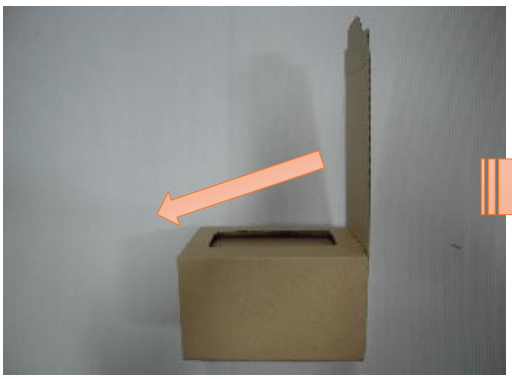
7. ③の部分を罫線（折れ線）に沿って折り、
③の部分を下に向きを変える。



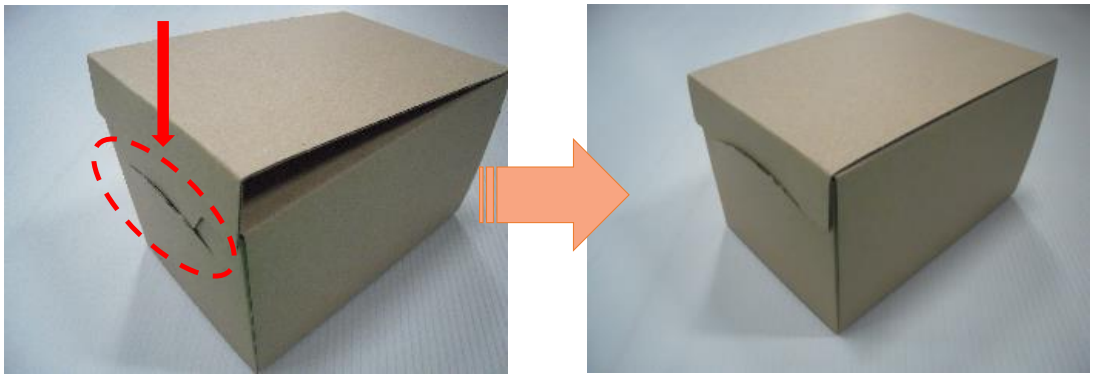
8. 中箱の中に小箱を写真のように入れる。
その際、中箱の窓から小箱の底が見えないように
小箱の向きに注意する。

9. フラップ部分2か所を内側に折り、本体の中に
折り込む。

10. 中箱の天面を本体に向かって折る。

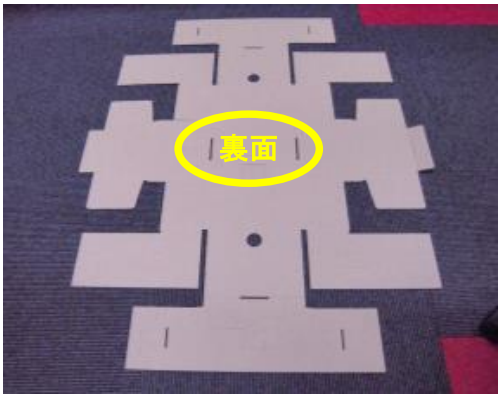


11. 最後に天面先端の差込部を本体の
切れ込み部に挿入し完成。

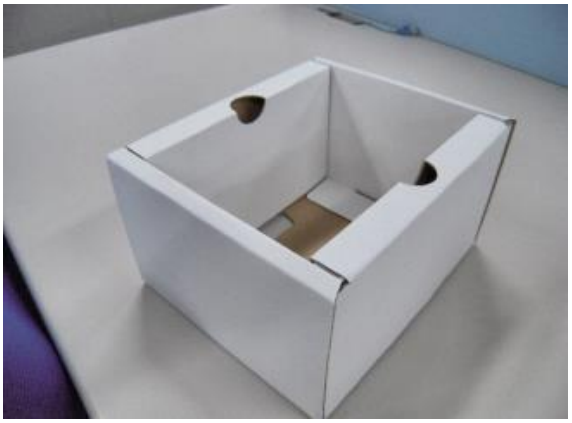


【競技課題２】　小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包（２）

化粧箱身展開図

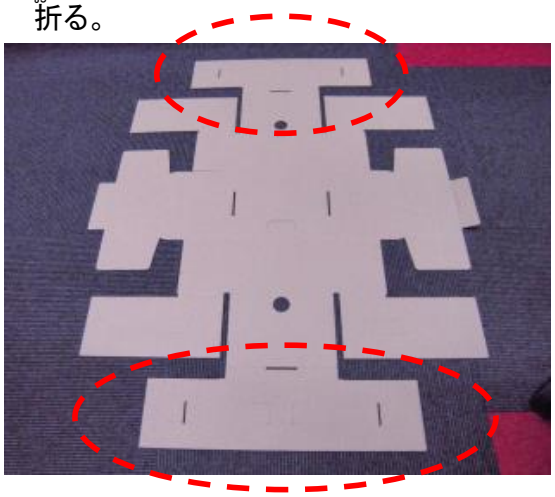


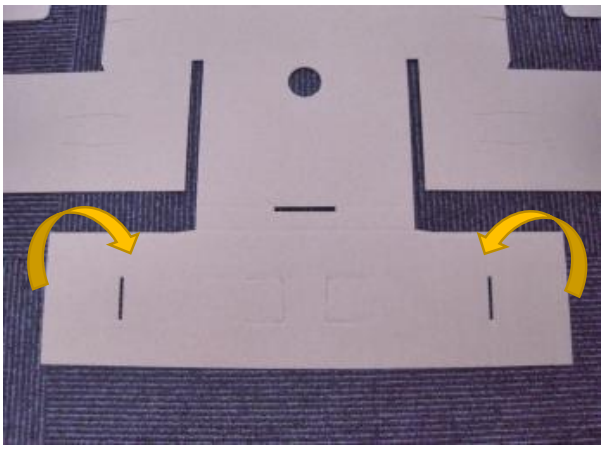
化粧箱身完成図



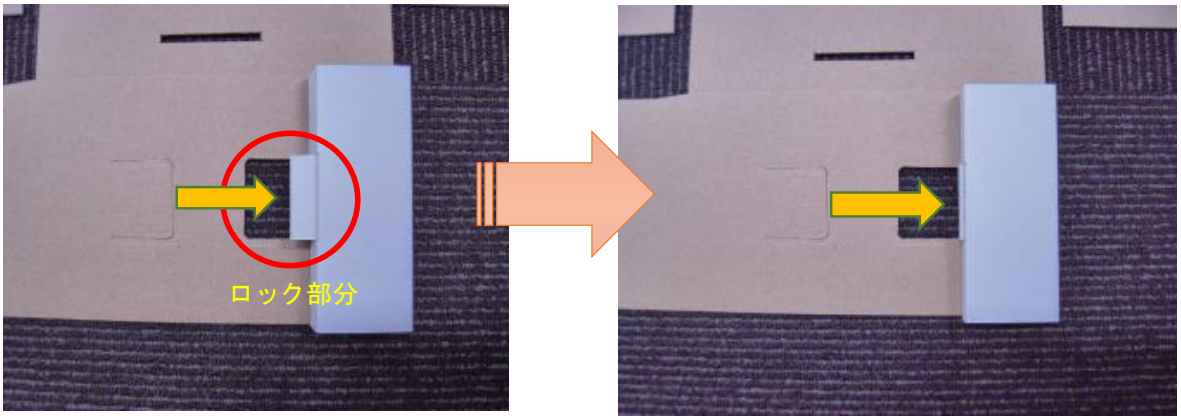
※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります
※競技材料はカットのみの材料です。そのため屑取り作業が必要となります

1. はじめに丸印の部分から折ります。
端の部分を内側に巻くように罫線に合わせ折る。

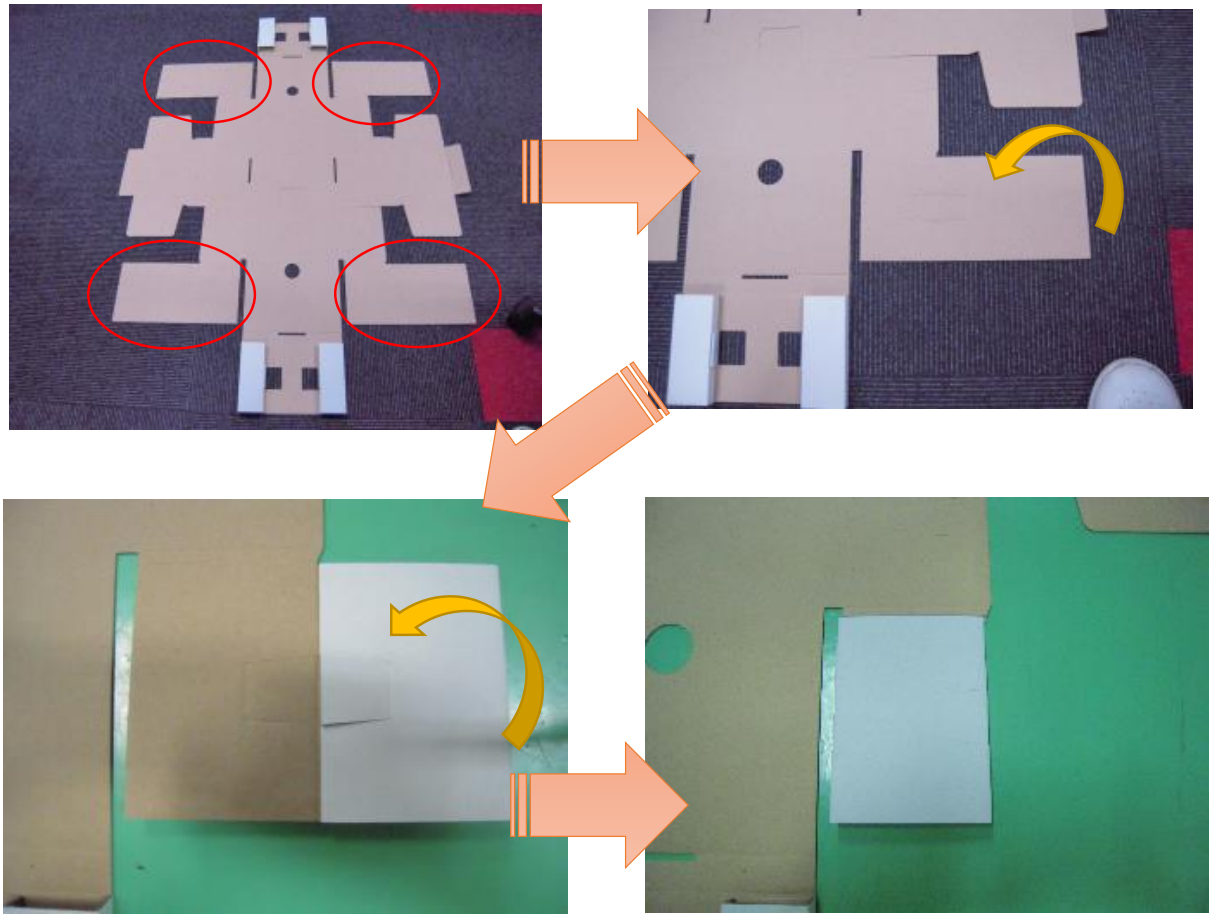




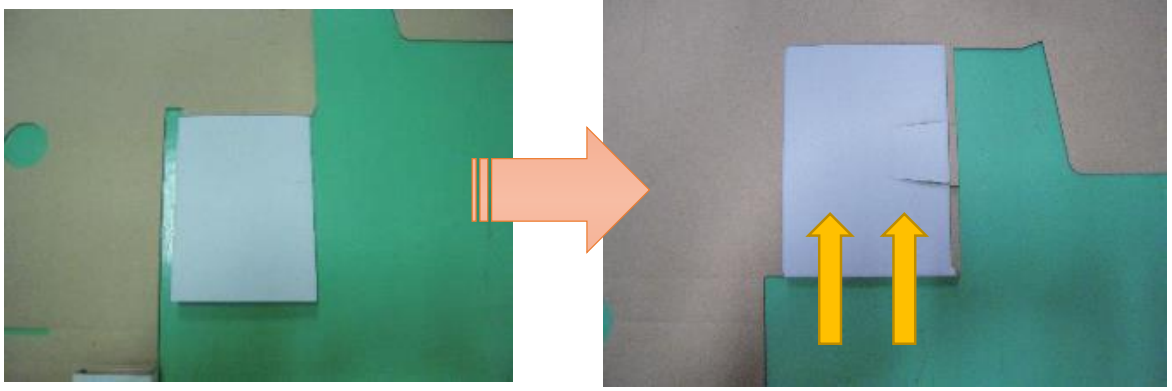
2. 折った部分の穴に、ロック部を下から
立ち上げ差し込む。
これを計4か所、同様に折る。



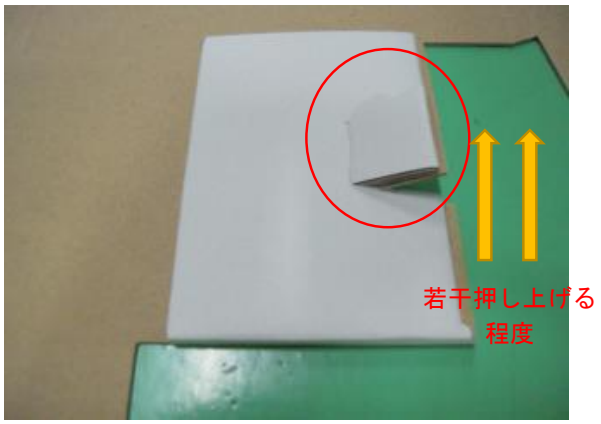
3. 丸印の部分を端から罫線に合わせ内側に
折る。



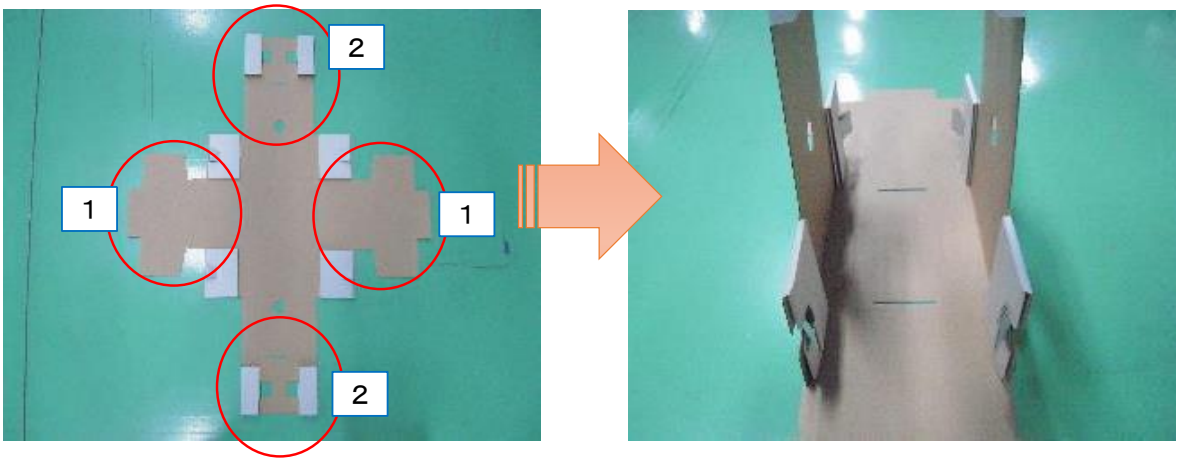
4. 本体中心に向かって罫線に合わせ折る。



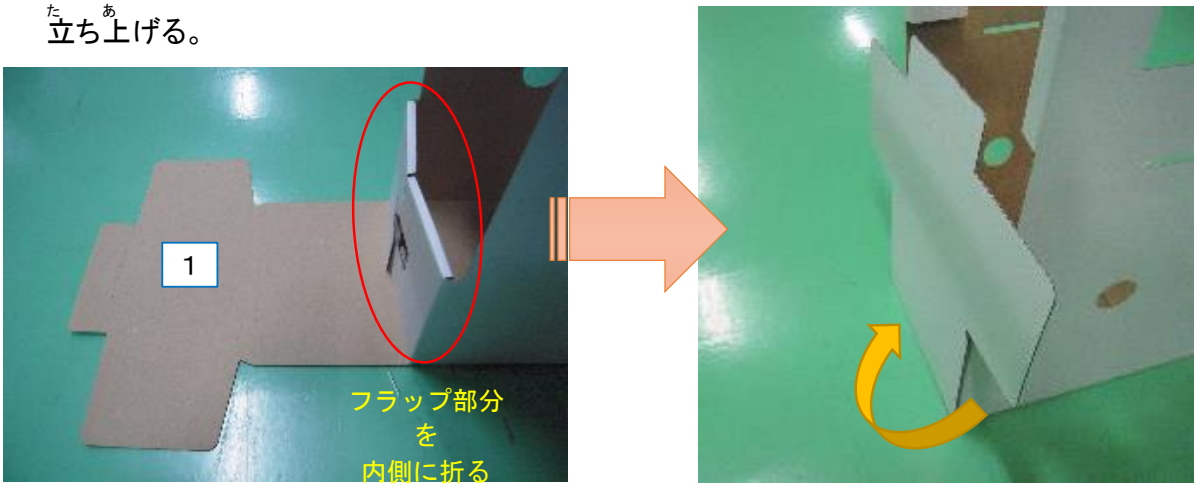
5. ロック部分を下から押し上げロックする。
これを各部、計4か所同様に折る。



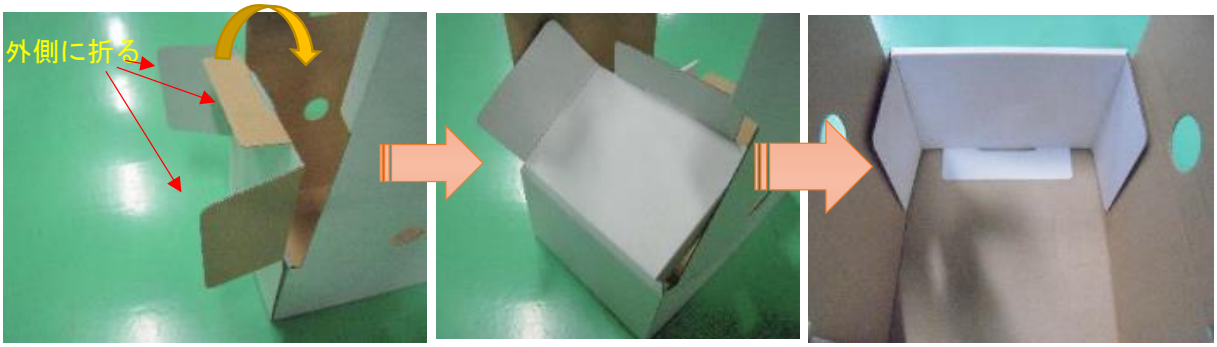
6. 2の部分を立ち上げる。



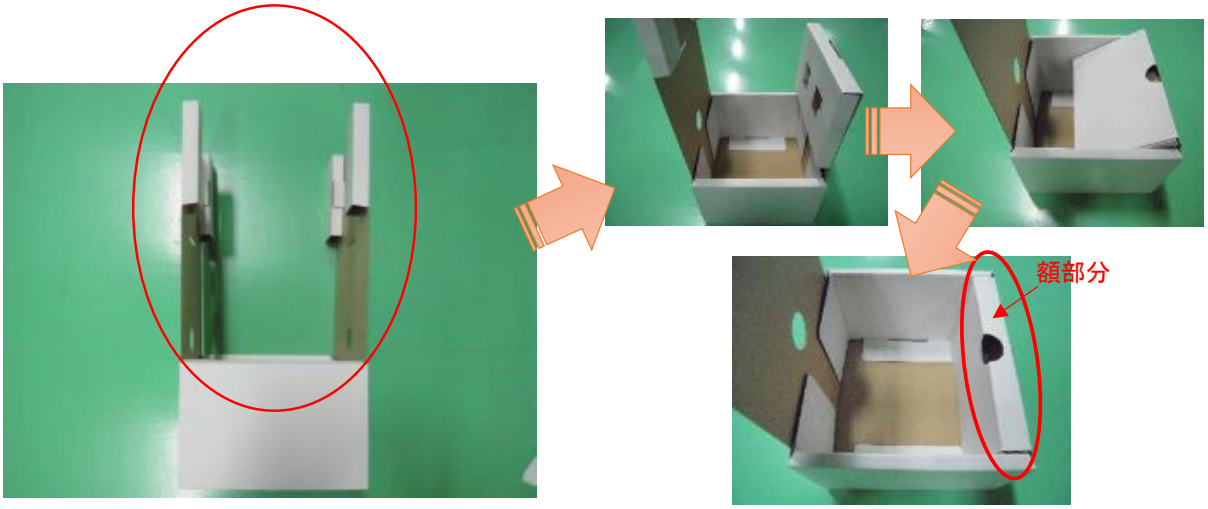
7. フラップ部分を内側に折り、1の部分を立ち上げる。



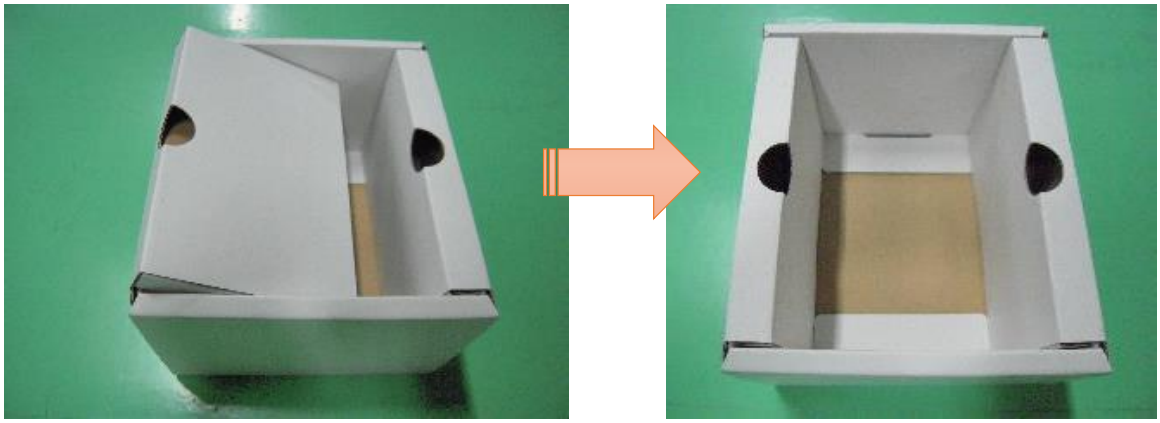
8. 1の部分の先端を外側に3か所折り、本体内側に折り込む。反対側も同様に折る。



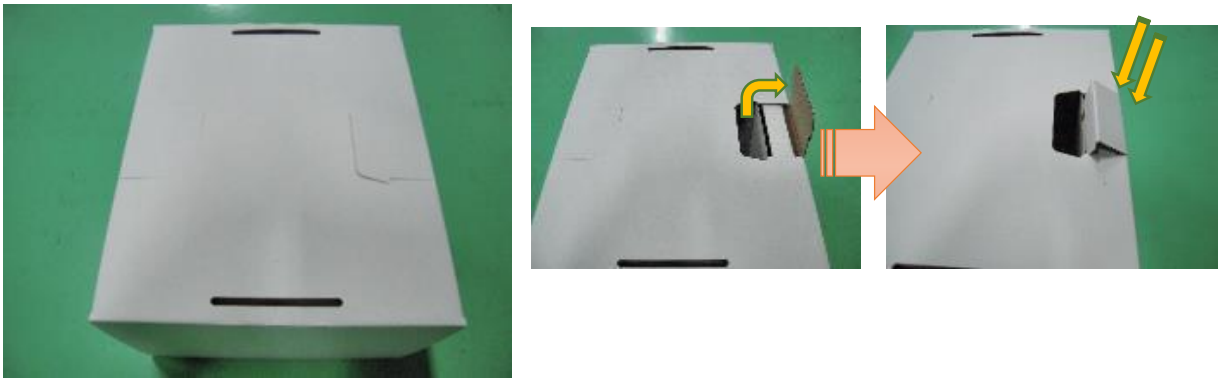
9. 2の端の部分から罫線に合わせ折り、額の部分が平らになるまで中に折り込む。



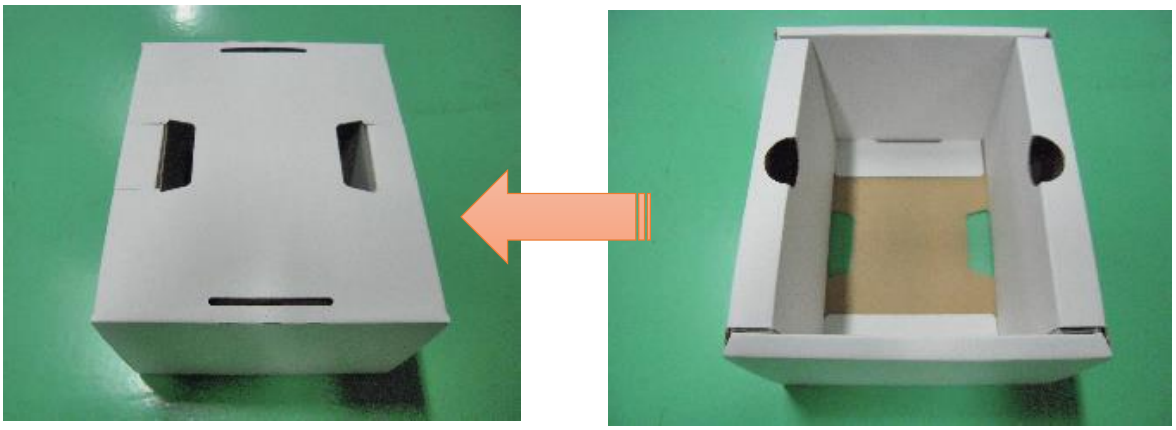
10. 反対側も同様に折る。



11. 裏（下）側を上にし、ロック部分を裏側から
押し出し、2の穴に挿入する。
反対側も同様に穴に挿入する。

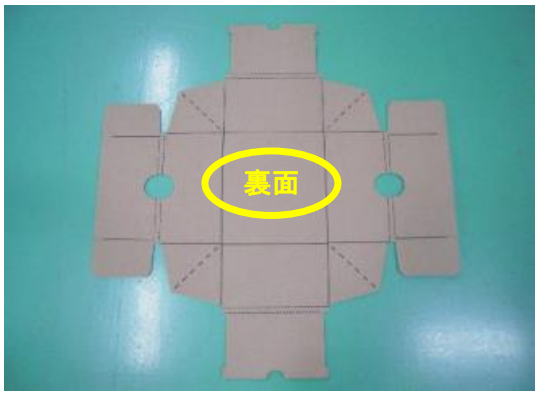


12. 2か所のロックが出来たら、底部を下に
向きを変え完成。



【競技課題２】　小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包（３）

化粧箱蓋展開図

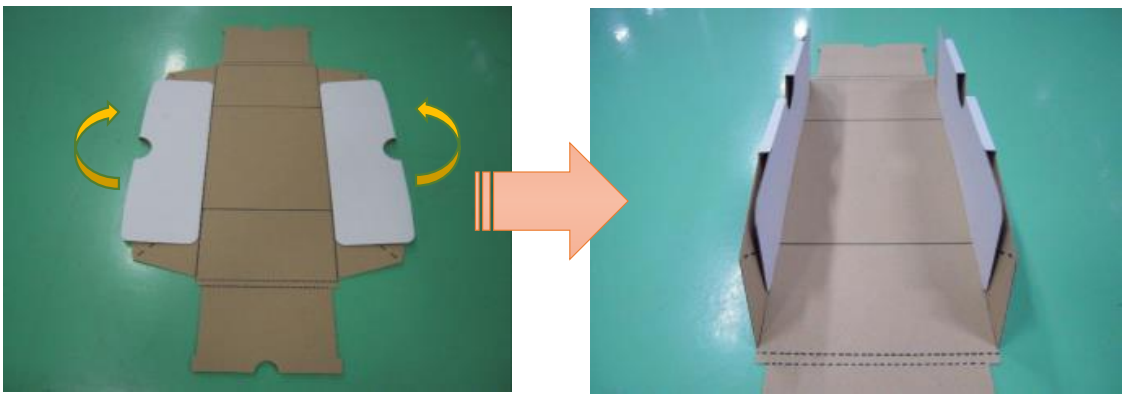


化粧箱蓋完成図

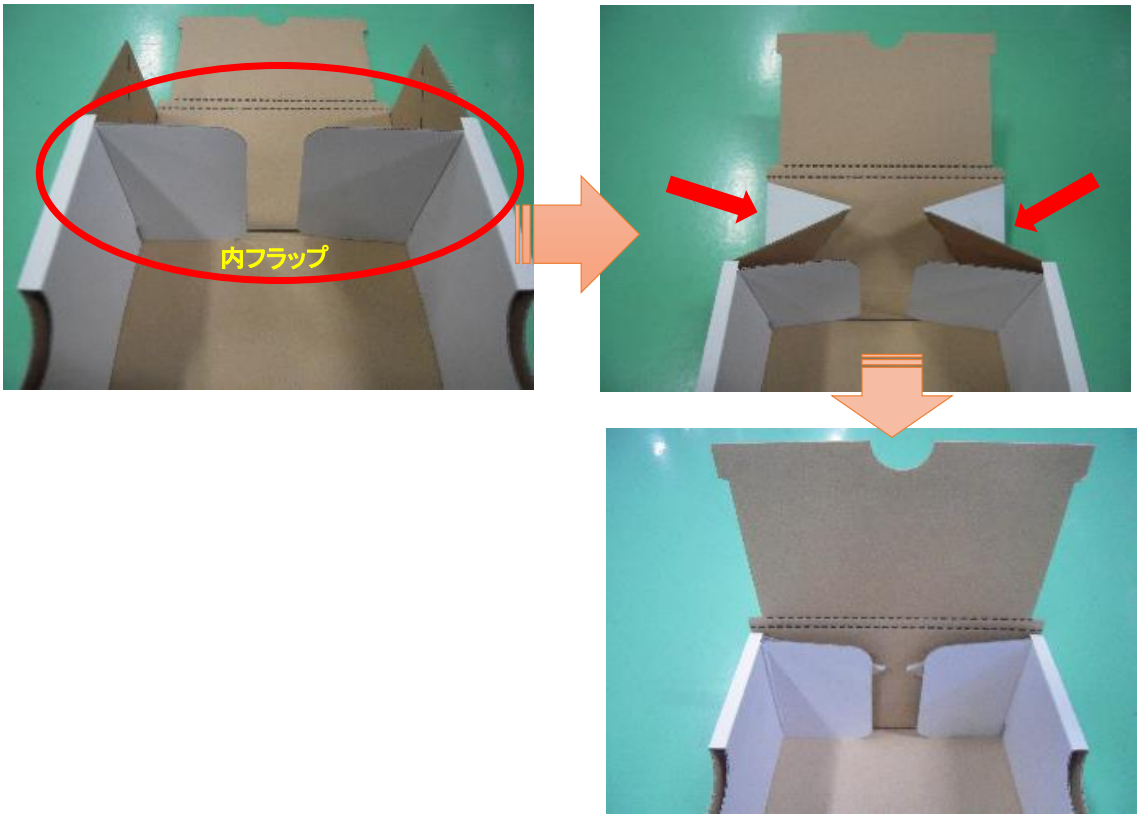
※罫線（折れ線）が見える方が裏面になります

※競技材料はカットのみの材料です。そのため屑取り作業が必要となります

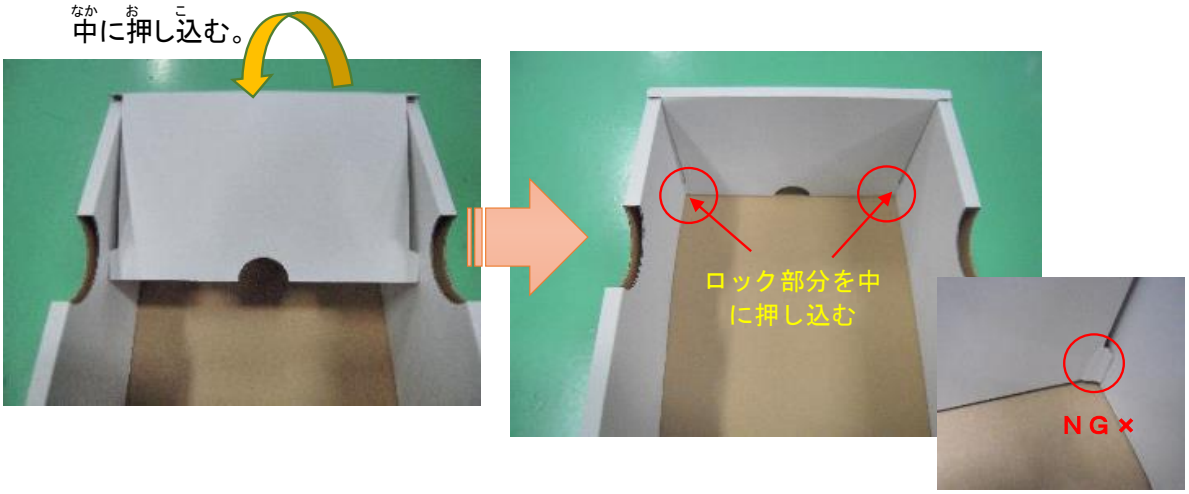
1．額部分を内側に折り、額部分全体を立ち上げる。



2. 内フラップを内側に折る。
その後に、外側フラップのミシン目を
内側に折りながら、側面を立ち上げる。



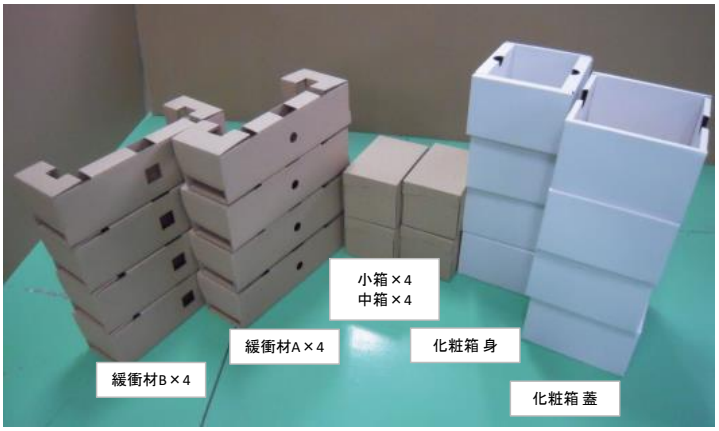
3. 側面を内側に折り込み、ロック部分を
中に押し込む。



4. 反対側も同様に折り完成。

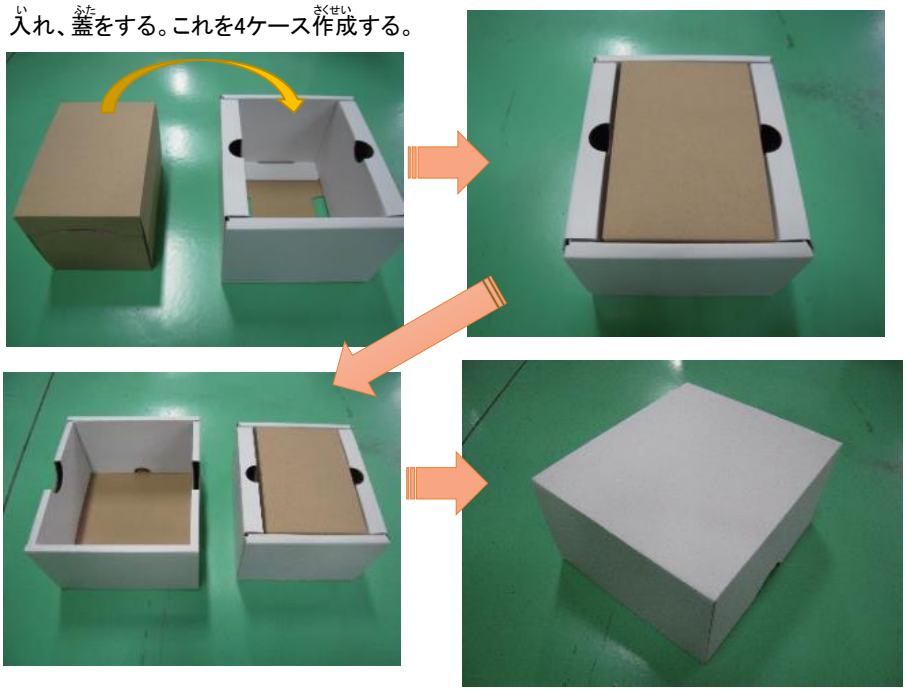
【競技課題２】　小箱・中箱・化粧箱・外箱の組立・セットアップ梱包（４）

梱包部品一覧



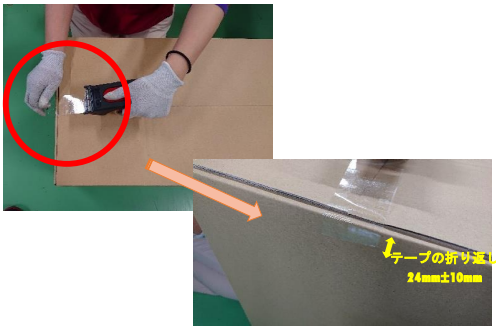
※上記部品を外箱にセットアップし梱包します
※緩衝材は紐で結束された状態で配布され競技中に紐を解き使用します

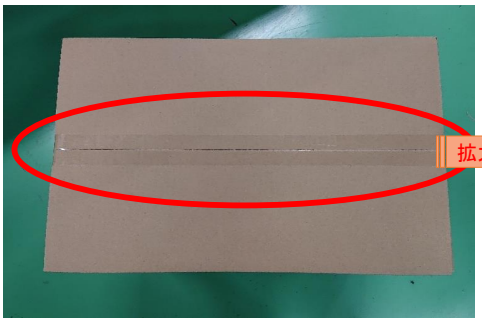
1. 化粧箱 身に小箱が入った中箱を入れ、蓋をする。これを4ケース作成する。



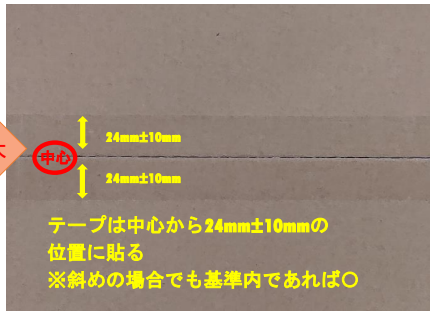
2. 外箱を組み立て底部を包装テープで貼り封をする。

① 外箱の底部を組み立て、中央部を包装テープで貼り封をする

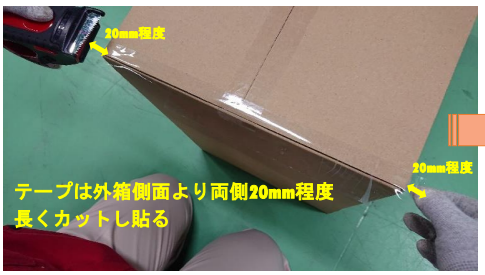




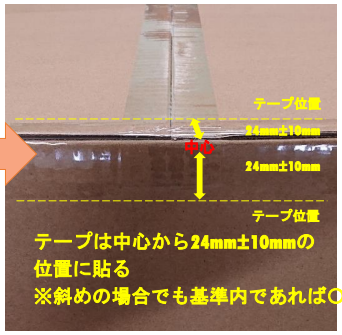
拡大

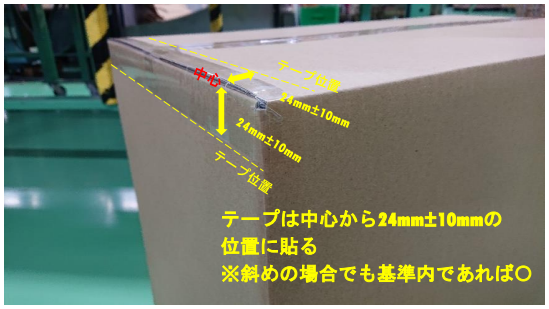


② 外箱の側面側を包装テープで貼る



拡大





3. 底部を封をした外箱の中に緩衝材を○または□が外側に
なるように各2ヶずつ設置し、化粧箱を入れる。

緩衝材A側には化粧箱を縦に設置する

緩衝材B側には化粧箱を横に設置する

4. 底部緩衝材と同じ緩衝材を向き合うようにそれぞれ設置する。

5. 外箱の上部を折り敷き紙の上に置く

※上部はテープを貼りません

※敷き紙は床に設置し、製品を置く際は製品が敷き紙からはみ出ないように置く事

※敷き紙には製品以外の物を置く事は出来ません